



# 新型転換炉原型炉「ふげん」の金属廃材を用いて製作した 北極域研究船「みらいII」と同型の錨いかりの展示について (お知らせ)

未来へげんき  
To the Future / JAEA

令和6年9月27日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構では、原子力施設の解体等で発生した廃棄物のうち、「クリアランス制度※<sup>1</sup>」に基づくクリアランス物の再利用を促進し、地球環境への負荷が低減される循環型社会の実現に向けた取組を実施しています。

「クリアランス制度」の社会への定着及び極域科学研究に係る理解促進に向けた活動として、このたび、国立研究開発法人海洋研究開発機構及び大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所のご協力を頂き、新型転換炉原型炉「ふげん」の金属廃材（クリアランス物）を用いて、北極域研究船「みらいII」（令和8年竣工予定）に搭載される錨※<sup>2</sup>と同型の錨を製作し、東京都立川市にある国立極地研究所の南極・北極科学館に展示しました。

○錨の仕様 高さ：約3.2メートル（設置時：約2.2メートル）、横幅：約2.5メートル、質量：約4200キログラム

※<sup>1</sup>：「クリアランス制度」は、原子力施設の解体等で発生する金属やコンクリート等に対して、それらの放射能濃度が十分低く、人の健康に対する影響を無視できるレベルとして国（原子力規制委員会）の確認を受けたもの（クリアランス物）は、一般産業等で再利用できる国の制度です。（平成17年「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」の改正により、導入されました。）

※<sup>2</sup>：北極域研究船「みらいII」にて実際に搭載・使用される錨には、一般的な鋼材が用いられています。

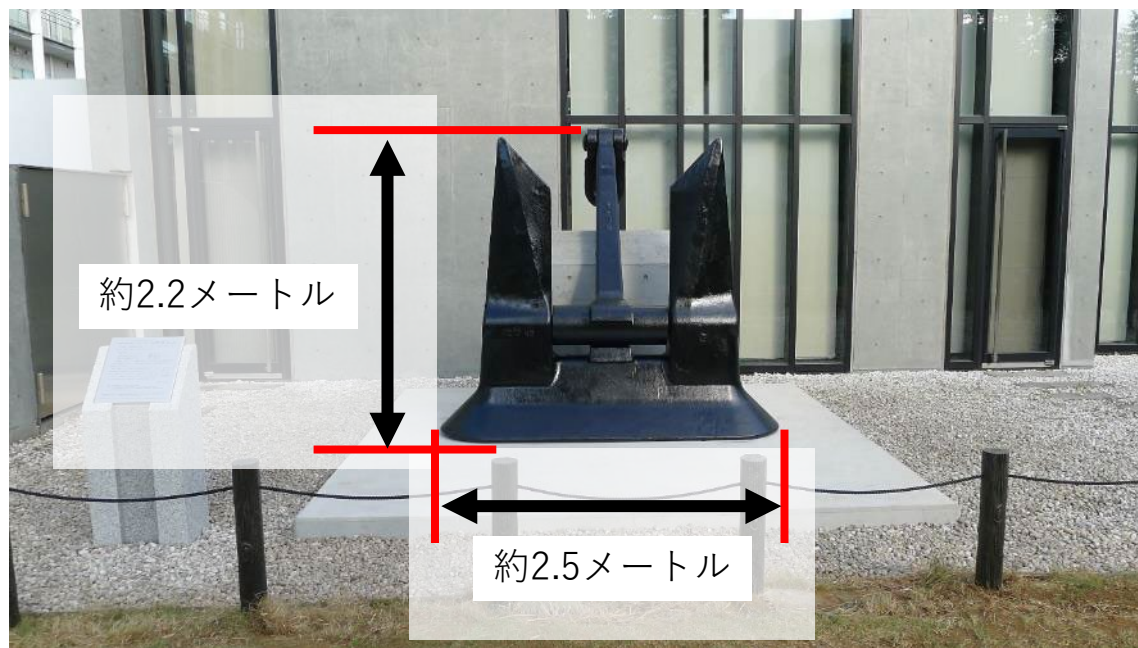
本件に係るお問合せ先  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構バックエンド統括本部  
〒319-1112 茨城県那珂郡東海村大字村松4番地49  
電話番号：029-282-1122（代表）（受付時間 平日10:00～16:00）



● 展示場所  
（東京都立川市）  
国立極地研究所 南極・北極科学館

※ 無料でご覧いただけます

錨の展示の様子



北極域研究船「みらいII」と同型の錨（展示品）